

テーマ	取組項目	目標	主な取り組み内容	実績	評価	
3 本 柱	低炭素社会構築	①エコ製品・技術開発の推進	—	・環境負荷低減製品開発	・高強度板ばね用鋼の開発 ・次世代高圧水素用ステンレス鋼の開発	○
		②エネルギー改革によるCO ₂ 排出量低減	日本鉄鋼連盟 低炭素社会実行計画 (フェーズI)対応	・大規模改善(各リエンジニア) 溶解電力低減、燃料原単位向上 ・小改善 省エネ塾によるココテン推進		△*
		③生産活動における省エネ活動の徹底				
		④物流活動における輸送効率の追求	輸送量当り排出量 2006年比10%削減	・動線短縮…2重デポ解消 (関西、新潟、北関東) ・積載率向上…刈谷、鍛造工場		○
	資源循環型社会構築	⑤生産における副産物の低減と更なる資源の有効利用	粗鋼量当り排出量 ≤191.7 kg /t	・ダスト電気炉吹込みリデュース ・SUSダスト一部社外売却 ・廃酸汚泥社外リサイクル		○
		⑥資源循環型企業に資する事業推進	—	・Dyフリーボンド磁石マグファイン® 商品化		
		⑦物流活動における梱包資材の低減と有効利用	—	・新規対象有無フォロー	・対象無し	○
		⑧生産活動における水使用量の低減	—	・水使用量管理開始	・鍛造工場、岐阜工場使用量把握	○
	共自然	⑨自然・生物多様性保全活動の推進	—	・”つなぐ”を意識した取組み推進	・知多半島生態系ネットワーク形成事業参加継続 …ピオトープ造成 ・「カプトムシのすむ森づくり」イベント開催	○
	環境マネジメント	⑩異常・苦情ゼロ活動の推進	異常・苦情 0 件 / 年	・環境法規制値の80%以下管理の徹底 ・未然防止活動(GK強化)の推進	・環境ヒヤリの運用継続	○
⑪連結環境マネジメントの強化		—	・研鑽会による現地現物確認 ・安環部長による国内子会社環境監査	・国内関連会社との相互研鑽会継続実施 ・環境監査継続実施	○	
⑫全国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減		—	・低排出ガス車導入フォロー	・実績報告様式検討	○	
⑬ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進		—	・グリーン調達ガイドライン改訂検討	・グリーン調達ガイドライン改訂完了	○	
⑭グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化		—	・環境ニュースによる啓発活動推進	・環境ニュース共有(国内)8件	○	
⑮環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実		—	・レポートの発行継続とさらなる内容充実 ・環境コミュニケーション活動の充実	・国際的ガイドライン「G4」への準拠完了 ・株主総会時の環境取組展示 ・地区懇談会:東海市・刈谷市	○	

※ [1.8] 事故影響分の挽回に至らず